

議席	通告者氏名
7番	佐藤 八郎

平成26年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月25日・午後1時25分・受付 No. 1

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
1. 村民の健康について			
1-1	現状の村民の身体状況への対応は、居住、家族、地域などバラバラで大変であるが、公平なやり方で全村民の健康を守り続けるべきであると考えているが所見を伺う。	村長	
1-2	症状把握、聞き取り、検査、通院、治療など、被害者としての人生上、心配である全てのものへ対応することが重要と考えるが所見を伺う。	村長	
1-3	被害者として狂わされた生き方の中で、健康維持、健診、治療など必要とされることへの補償を恒久的に求めるべきであると考えているが所見を伺う。	村長	
2. 完全賠償について			
2-1	多くの村民が納得できる賠償が求められているが、現実の課題、差別、今後において同じ村民に差がなくなる取り組みをすべきであると考えているが所見伺う。	村長	
2-2	村民は非なくても被害者として我慢し、怒り、苦しみに耐えて生きている。何故こんな生活となったのか、村として要求をまとめ、国民としてあるべき、元通りに近い、基本的人権が認められた生活となるようにすべきであると考えているが所見を伺う。	村長	

平成26年第2回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月25日・午後1時25分・受付 No. 1

議席	通告者氏名			
7番	佐藤 八郎	質 問 事 項 ・ 内 容		
		答弁者	答 弁	内 容
3. 放射性物質除去について				
3-1	除染実施すれば線量下がり、安心安全になるとは限らないことは、この2年数か月の中で実証されている（放射性物質の半減期によっては減少あるが）。単純に国の言うことでは真実とズレがあるのを多くの村民は実感している。これまでの実態を透明化し、これからの工程によって年間1ミリシーベルト以内になるよう村民に示すべきであると考えが所見を伺う。	村長		
3-2	村独自の調査、施策を透明化すべきである。加害者の言いなりではなく、自治体としての責任を明確にすべきであると考えが所見を伺う。	村長		
4. 村民一人ひとりの復興について				
4-1	これまでの計画と課題をどのように総括され、次のものに生かしてきたのか伺う。	村長		
4-2	各種集会での「村民の声」はどのようにまとめ、計画にどう生かされているのか伺う。	村長		
4-3	計画づくりはあまりにも村民参画が少なく、限られた方々である。村民一人一人の復興について不十分な中での計画づくりである。「村民が主人公」「民主的実践」「人として生きる」ことなど重視して計画づくりを進めるべきであると考えが所見を伺う。	村長		

平成26年第2回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成26年3月5日(水)午後5時00分受付・No. 1

議席	通告者氏名
7番	佐藤 八郎

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
5. 避難指示解除について			
5-1	解除見込み時期の発表（3月4日から3月5日）をしたが、議会との協議、約束とは違うものであるが、村民にとって合意を得られるものであるか、理由と経過を示せ。	村長	
5-2	「まていな復興計画第4版」（案）の答申があったが、委員会での村民参画と、答申までの活動報告と課題を示せ。	村長	
5-3	解除見込み時期を決定することで、村民にとってどのような変更があるのか。（税免除、医療費無料化と高速料金無料化、賠償追加、災害公営住宅入居など）	村長	

平成26年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月26日・午前9時25分・受付 No. 2

議席	通告者氏名
1番	高野孝一

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 2月第2週及び第3週の週末における大雪の対応について			
1-1	<p>除雪態勢はどのような状況であったのか伺う。</p> <p>①積雪量の把握はどのようにして行って行ったのか。 ②担当する職員の初動態勢及び災害対策本部の設置については、どのように行ったのか。 ③全村避難後における除雪作業の実施要領は、どのようになっているのか。 ④除雪作業の路線の優先順位をどのように設定しているのか。 ⑤業者との委託契約数と重機の台数については、どのように確保していたのか。</p>	村長	
1-2	第2週末の除雪の対応における、業者の数及び従事した人数と、除雪重機等の述べ台数は。	村長	
1-3	第3週末の積雪量はどの位であったのか、その除雪の概要を時系列で示せ。	村長	
1-4	今回の除雪に要した費用は。	村長	
1-5	今回の大雪による住宅、作業場、鉄骨ハウスやビニールハウスなどの被害について、その状況をいつまでに取りまとめ、復旧対策にどのように取り組む考えか伺う。	村長	
1-6	全村避難のために被害が拡大したと考えられる今回の大雪による損害に対して、東京電力にその損害賠償を請求し住民の負担軽減を図るべきと考えるが所見を伺う。	村長	
1-7	積雪による村の孤立化を防ぐために、かねてから、積雪時において交通難所となっている、県道12号線（原町・川俣線）の「八木沢峠」と「通称ほつつあか」地点について、県及び当該市町との協議を行い、速やかな除雪態勢を構築すべきであると考えが所見を伺う。	村長	

平成26年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月26日・午前9時25分・受付 No. 2

議席	通告者氏名		
1番	高野孝一	質問事項・内容	
質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
2. 村に勤務する職員の勤務状況等について			
2-1	平成26年1月1日現在における、村正規職員及び臨時職員（嘱託職員を含む）の数と派遣職員の状況について伺う。	村長	
2-2	それらの職員の居住地について、市町村別に人数を示せ。また、通勤時間が長くなることに伴う、通勤災害の防止、交通事故防止対策の実施状況について伺う。	村長	
2-3	原発事故以降、平成23年度から25年度（見込み数）における早期退職者の推移と主な理由について、また、昭和28年4月2日以降に生まれた職員の退職に伴い、村の再任用についての考え方について伺う。	村長	
2-4	復興事業の本格化により仕事量が増え、全国の自治体や国から応援派遣や任期付き職員の方が来ているが、去る2月14日新聞掲載によると、本村は震災関連職員について14名要望したが決定数はゼロとの内容であった。村が要望した職員の職種と基準、さらにはなぜゼロであるのか伺う。	村長	

平成26年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月26日・午後4時43分・受付 No.3

議席	通告者氏名
8番	佐藤長平

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
1. 全村帰還日設定と避難指示解除について			
1-1	田村市都路東部の避難指示解除が国主導によって行われ、住民の総意、醸成が活かされずに解除決定された。 このような古典的手法の「分割統治」を思わせる国主導の解除決定に対し、村長の所見を伺いたい。	村長	
1-2	避難指示解除の前提となる徹底した除染について、平成26年度内住環境除染の工程表を伺う。	村長	
1-3	除染実行体制強化のため、専従課を飯舘本庁に戻すに従って、除染及び行政と関連する業界団体への要請は行っていくのか所見を伺いたい。	村長	
2. 復興計画の産業育成と雇用の確保について			
2-1	産業の育成と雇用の確保について、具体的な計画と専門に審議する組織づくりが必要と思われる。村長の所見を伺いたい。	村長	

平成26年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月27日 午前8時55分 受付. 4

議席	通告者氏名
3番	菅野新一

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 除染について			
1-1	住宅、農地、山林（里山）、農業用水、ため池等、山菜、キノコなど、山の恵みの採取、自給自足ができる環境を取り戻すまで、完全除染の徹底を望むが、村としての所見を伺う。	村長	
1-2	除染不可能工作物（倒壊しそうな建物）の解体費用は、国費で負担するということがあったが、その後の進捗状況と、解体した汚染廃棄物の処分方法について伺う。	村長	
2. 帰村に向けての対策について			
2-1	上水道のない地区、行政区の、安心安全な飲料水の確保は、帰村するために必要不可欠である。深井戸等の支援を、国や東京電力と協議するということがあったが、その後の進捗状況について伺う。	村長	

平成26年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月27日・午前10時23分・受付 No. 5

議席	通告者氏名		
5番	松下義喜	質問事項・内容	
質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
1. 帰村と特例宿泊について			
1-1	帰村目標と設定について伺う。	村長	
1-2	避難解除時期はどのような状況となった時と考えているのか伺う。	村長	
1-3	早く戻りたい人のための特例宿泊はどう考えているのか伺う。	村長	
1-4	インフラ整備はどう考えているのか伺う。	村長	
1-5	最終的な損害賠償をどう考えているのか伺う。	村長	

平成26年第2回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月27日・午前11時00分・受付. 6

議席	通告者氏名
4番	北原 経

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
1. 村内で再開している事業所の状況について		村長	
1-1	現在、村内で事業を継続または再開している事業所の状況と課題について伺う。		
2. 大雪による被害状況について		村長	
2-1	農業施設等が被害を受けたが、今後の対応について伺う。		
3. 村民の緊急時の対応について		村長	
3-1	最近の村民、また各自治会等で普通救命講習（心肺蘇生）受講者数の状況と、今後の取り組みについて伺う。		
3-2	小中学校の生徒に、特別授業で普通救命講習を取り入れ、皆が命を救えることを学ばせるべきと思うが、所見を伺う。		
		教育長	

議席	通告者氏名
2番	渡邊 計

平成26年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成26年2月27日・午前11時36分・受付. 7

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
1. 2. 15 豪雪について			
1-1	建物・ハウス等の被害状況と倒壊物（放射能廃棄物）の処理等支援策があるのか、所見を伺う。	村長	
2. 復興住宅及び仮設住宅（みなし仮設）について			
2-1	昨年末のアンケートの回答率は51%であったが、20代～40代の回答率は低く、また内容も乏しく、明確なニーズは把握できないのではないか。もっと綿密な調査が必要と思うが、所見を伺う。	村長	
2-2	現在の建設予定地以外に建設する計画はあるのか。	村長	
2-3	仮設及びみなし仮設等に、いつまで入居していただけるのかと村民から不安の声が聞かれるが、くわしく説明すべき時に来ているのではないかと思うが、所見を伺う。	村長	
3. 避難解除（帰村宣言）見込みについて			
3-1	いずれ見込時期を表さなければならないと思うが、環境省から除染完了予定時期はいつ頃と通知されているのか。	村長	
3-2	解除に伴い、付帯条件を出すべきと思うが、所見を伺う。	村長	